



東京都家庭薬工業協同組合会報

かていやく

平成23年1月 通巻88号



早春の富士山

かていやく

本組合は、組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な共同事業を行い、もって組合員の自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上をはかることを目的とする。

定款 第1章 第1条(目的)より

目次

通巻88号 2011年1月25日

年頭のご挨拶	堀 正典	3
新年のご挨拶	東京都福祉保健局健康安全部長 鈴木 賢二	4
特集		
健康情報が満載 ホームページがおもしろい! Part 2		5
肩こり・腰痛倶楽部(エーザイ株式会社)、健康豆知識(摩耶堂株式会社)、ダイエットレシピ(株式会社浅田飴)、アース害虫駆除なんでも事典(アース製薬株式会社)、便秘解消レシピ(イチジク製薬株式会社)、虫図鑑(株式会社金冠堂)、暮らしのヒントお知らせ隊(小林製薬株式会社)、彩美ごっこ(ホーユー株式会社)、PMSノート(株式会社アラクス)、まんが育児物語(宇津救命丸株式会社)、いきいきひろば(久光製薬株式会社)、こどものペンビ相談室(株式会社山崎帝國堂)、わこちゃんカフェ(和光堂株式会社)、フマキッズこども研究所(フマキラー株式会社)、漢方百科(イスクラ産業株式会社)		
家庭薬ロングセラー物語／大草胃腸薬		10
委員会だより		12
総務、薬事、GMP、流通、厚生、労務、IT(情報技術)、消費者対応、情報協業化、広報誌		
第3回 一般用医薬品普及啓発イベント ～よく知って正しく使おう一般用医薬品～		19
第21回 GMP研修見学会レポート		20
家庭薬グラフィティー		21
事務局だより		24
編集後記		
表紙題字／第4代理事長	津村重舎	
表紙写真／救心製薬(株) 代表取締役社長	堀 正典	

年頭のご挨拶

東京都家庭薬工業協同組合

理事長 堀 正 典



皆様、明けましておめでとうございます。
組合員の皆様には良き新年をお迎えになられたことと存じます。

今年の干支は、辛卯(かのとう)であります。兎は坂を飛び上がるのが速いところから何事も良い方に速やかに進むと言われております。ぜひとも、業界にとりましても、兎の跳躍する姿のように大きく飛躍する1年としたいものであります。

昨年を振り返りますと、春先の低温や日照不足、猛威をふるった梅雨前線による大雨、夏の記録的猛暑などで農作物の生育にも影響が出るなど例年にない異常気象の1年で、地球規模での気候変動が懸念されるところであります。特に、国内では東海から九州・奄美地域にかけての集中豪雨では甚大な被害が生じました。その他、宮崎県にて発生した家畜伝染病「口蹄疫」の感染拡大など、不穏な出来事の多い1年となりました。被害を受けた関係の方々には謹んでお見舞いを申し上げ、1日も早い復興を心より祈念いたすとともに、今年こそは平穏無事で明るい1年であることを願ってやみません。

わが国の経済は、平成20年9月のリーマンショックの後、急速な景気悪化に陥り、その後、徐々に持ち直しつつあると言われながらも、回復の実感に乏しいままに、特に昨年は、欧米諸国の経済の減速、急速な円高の進行なども相俟って、再び成長が鈍化してきております。また、デフレも依然として続いており、厳しい所得環境から消費者の節約志向が顕著な状況であります。家庭薬も、この十数年来の右肩下がりの中、厳しい市場環境にあるわけですが、何とか

業界としては、家庭薬の安心・安全を上手にアピールし、生活者の理解につなげ、巻き返しを図りたいと考えております。

そのような中で、生物種の保全を目的とした「生物多様性条約」の動向もたいへん気がかりであります。遺伝資源からの利益配分をめぐる先進国と発展途上国との間での対立が生じており、昨年10月に名古屋で開催された同条約の締約国会議(COP10)での議定書策定により利益配分の国際ルールが確立されましたが、この運用いかんでは医薬品業界の発展にとっても重大な影響を及ぼしかねず、今後の情勢に引き続き注視していく必要があります。

経済成長の鈍化、膨大な財政赤字、急速な少子高齢化など、日本が構造的に抱えている課題も多岐にわたり、しかもそれらが複合的かつ密接に関連しております。このような時代背景の中で、社会保障制度を維持し、強化していくためにも、私ども家庭薬の諸製品を通じて、「自分の健康は自分で守る」というセルフメディケーションの啓蒙に努め、真摯に情報提供を行い、積極的に家庭薬を選択いただくことで、医療財政の改善に貢献することもたいへん重要なことであると考えます。

昨年5月の総会で、3期目の理事長を引き受けいたしました。本年も家庭薬業界の振興と発展に向けまして、生活者目線に立った安心・安全な医薬品提供のための事業活動を展開し、皆様とともに一丸となつて、直面する多くの課題に当たっていくことをお誓い申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

東京都福祉保健局健康安全部長
鈴木 賢二



新年明けましておめでとうございます。
東京都家庭薬工業協同組合の皆様におかれましては、良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日ごろから東京都の薬務行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

一昨年発生した新型インフルエンザの収束後、昨年は、比較的穏やかな中で仕事に取り組めた年でした。

薬事関係では、平成21年6月に施行された一般用医薬品の販売制度改革から1年を経過し、都内の医薬品小売業者の半数程度で店舗販売業への切り替えが行われました。新たに設けられた登録販売者については、昨年11月末時点で、都内で9,300名程度の販売従事登録がなされ、都内店舗販売業の半数程度で登録販売者が管理者となるなど、新たな制度が浸透してきています。

ただ、国が実施したいわゆる覆面調査で、一般の方から見て、制度への対応に課題のある店舗等が少なくないことが明らかになりました。都としては、今回の制度改革が都民の健康に役立つ実効性あるものとなるよう、制度の定着に全力をあげて取り組む所存です。

近年、生活習慣病の増加などの疾病構造の変化、QOLの向上への要請等に伴って、自分自身の健康に対する関心の高い方々が増加する中、医療用医薬品の成分の一般用医薬品への転用が進んでいます。これらのいわゆるスイッチOTCがセルフメディケーションに活用されるためには、メーカーや販売者から適切に安全性情報などが提供されることが重要です。皆様方の今後の取り組みに期待いたします。

東京都では、医薬品等の安全確保を始めとし、新型インフルエンザ等の感染症や大規模食中毒などの健康危機への迅速な対応、エイズや薬物乱用防止対策、花粉症の予防・治療対策などの効果的な推進により、今後とも都民の健康を守り、安全・安心を確保する危機管理体制を強化してまいります。

東京都家庭薬工業協同組合の皆様におかれましては、セルフメディケーションの考え方を踏まえ、長い伝統と多くの家庭の常備薬を取り扱う家庭薬のプロとして、広く信頼を得ておられるところです。今後とも、品質管理と安全管理に尽力をされ、公衆衛生の向上と、公共の福祉にご貢献いただきますことを切に期待しています。

結びに、皆様のご健勝とますますのご繁栄を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



特集

健康情報が満載
ホームページが
おもしろい!

Part 2

東京都家庭薬工業協同組合の組合員のホームページには、商品や会社の紹介だけでなく、健康に役立つ情報を生活者に対して提供している。その内容は、専門的なものから気軽に実践できるものまで幅広い。

前号は、健康情報サイトと漢方・生薬サイトを中心に紹介したが、今号は女性向けや子ども向けのサイトを加え紹介する。



肩こり・腰痛倶楽部

<http://www.nabolin.com/>

肩こりや腰痛、目の疲れの原因、改善法に関する総合情報サイト。肩こりや腰痛に悩んでいる方のための自己チェック表や、肩こり、腰痛の原因、対処法などを紹介している。

主な内容

- 肩こり・腰痛チェック
- こりの3大原因
- 肩こり・腰痛改善法

エーザイ株式会社

健康情報サイト



健康豆知識

<http://www.mayado.jp/library/kounenki.html>

男性にも更年期障害があることはあまり知られていない。本サイトでは男性の更年期障害についてわかりやすく解説している。そのほかにも生活習慣病や漢方などについて解説したページがある。

主な内容

- 男性にも更年期障害が…
- 生活習慣病ってどんなもの?
- 漢方と生薬

摩耶堂株式会社

健康情報サイト



ダイエットレシピ

<http://www.sugarcut.jp/recipe/index.html>

浅田飴が製造・販売する甘味料を使った低カロリーレシピを紹介しているサイト。レシピは煮物、ハンバーグ、サラダ、ティラミス、プリンなど、50種類以上掲載されている。

主な内容

- シュガーカットレシピ
- シュガーカット顆粒ゼロレシピ
- エリスリムレシピ

株式会社浅田飴

豆知識サイト



アース害虫駆除なんでも事典

アース製薬株式会社

<http://www.earth-chem.co.jp/gaichu/index.html>

ゴキブリやダニ、コバエ、アリといった害虫を駆除するには、害虫の特徴を知る必要がある。このサイトでは害虫の種類や生態などを詳しく解説し、駆除方法や予防法などを紹介している。

主な内容

- ゴキブリ
- ダニ
- お部屋で発見!この虫なに?



便秘解消レシピ

イチジク製薬株式会社

<http://www.ichijiku.co.jp/recipe>

“便秘解消には、食物繊維を摂ることが大事とわかっていても、どうやって摂ればいいの? 同じものばかり食べていてもつまらない!” そんな悩みを解決するために、ちょっと、おしゃれで、簡単にできる便秘解消レシピを紹介。

主な内容

- NEWレシピNo.4 ごぼうのポタージュ
- NEWレシピNo.11 豆サラダ
- NEWレシピNo.13 きのことたっぷりグラムチャウダー



虫図鑑

株式会社金冠堂

<http://www.kinkan.co.jp/insect/>

主に春から秋にかけて発生する蚊、ブユ、アブ、ハチなどの種類とその特徴について解説しているサイト。身近な虫について簡潔に解説されているので、すぐ知りたい時に役立つ。

主な内容

- 蚊
- ブユ
- アブ



暮らしのヒントお知らせ隊

小林製薬株式会社

<http://hint.kobayashi.co.jp/>

毎日の生活をもっと便利に暮らすために、家事のコツや裏技といった情報をウェブとメールマガジンで配信している。また、家事で困っている方への疑問に答えた「暮らしのはてな」もある。

主な内容

- 家事の裏技!
- 住まいの相談箱
- 暮らしのはてな



彩美ごっこ

<http://www.siragazome.jp/index.html>

白髪染めの使い方や似あう髪色の見つけ方といった白髪染めを楽しむための情報が満載されている。また白髪染めと言えば、女性のイメージがあるが、男性向けの情報も掲載。

主な内容

- 白髪染めとは?
- チャンネル・アラフォー
- 男の白髪染め

豆知識サイト



PMSノート

<http://www.pms-note.jp/>

PMS(月経前症候群)は、日本での認知度が低いため、つらい症状を自覚しているながら、それがPMSだと気付かずにひとり悩んでいる女性が多い。本サイトではPMSの原因、対策などをわかりやすく解説している。

主な内容

- PMSを知ってる?
- PMSの対策は…
- PMSをチェック

女性向けサイト



まんが育児物語

<http://www.uzukyumeigan.co.jp/comic/>

本物語は、初めて生まれたマコちゃんの、誕生からの成長記録を描いている。現在の平均的家庭である核家族を中心に、育児の心配、悩み、喜びを、わかりやすく解説。初めて子どもを育てる女性には最適。

主な内容

- 第 8話 かんむし
- 第10話 夜泣き
- 第15話 発熱

女性向けサイト



いきいきひろば

<http://www.hisamitsu.co.jp/hrt/>

更年期障害の症状は人によって違うの? 最初、医師に何を話したらいいの? といった気になる質問に答えた「一目でわかる更年期のQ&A」など、更年期障害について解説したサイト。

主な内容

- 一目でわかる更年期
- 更年期セミナー
- 更年期指数チェック

女性向けサイト

女性向けサイト



こどものベンピ相談室

株式会社山崎帝國堂

<http://www.dokusougan.jp/bbp/kodomo.html>

便秘と言えば、若い女性や高齢者の悩みと思われがちだが、実は子どもが悩んでいる症状でもある。本サイトでは、便秘の原因や治し方を解説している。また、日常生活で便秘にならないための注意点も紹介されている。

主な内容

- ベンピの実態
- ベンピの治し方
- 自然のチカラで

女性向けサイト



わこちゃんカフェ

和光堂株式会社

<http://community.wakodo.co.jp/>

和光堂会員サイト「わこちゃんカフェ」には、妊娠から育児まで食を学び、楽しみ、おいしくするコンテンツがいっぱい! 会員登録(登録無料)すると、キャンペーンのお知らせなどお得な情報が満載のメールマガジンが届く。

主な内容

- 楽しくわかる! プレママ検定
- 授乳丸わかり 母乳と育児用ミルクのお話
- 月齢・素材で検索! 離乳食メニュー

子ども向けサイト



フマキッズこども研究所

フマキラー株式会社

<http://www.fumakilla.co.jp/kids/homeroom/>

小学生の自然や地球環境、生命に対する探求心の向上と精神的な成長をサポートするサイト。夏休みの課題である昆虫や植物の自由研究に役立つ。「フマキッズ検定」では昆虫や植物についての知識が確認できる。

主な内容

- 虫の研究室
- 植物の研究室
- フマキッズ検定

漢方・生薬サイト



漢方百科

イスクラ産業株式会社

<http://www.ikanpo.jp/kanpo/index.html>

美容から症状別まで、中医学の知恵や対処法を紹介しているサイト。不妊、冷え症、アトピー性皮膚炎などの疾患や症状についての解説や、漢方美容・健康食品・生薬についての情報などが満載。

主な内容

- 女性の体の悩み
- 薬膳
- 中医学を学ぼう!

特集で紹介したホームページの一覧

カテゴリー	サイト名	URL	会員企業
健康情報 サイト	肩こり・腰痛倶楽部	http://www.nabolin.com/	エーザイ株式会社
	豆知識	http://www.okusa.co.jp/mame.html	大草薬品株式会社
	ノロウイルス感染防止対策	http://www.oyalox.co.jp/c/c05_f.html	株式会社オーヤラックス
	総合療法	http://www.keimeido.co.jp/sogoryoho/index.html	株式会社恵命堂
	ひとみすこやか.com	http://hitomi-sukoyaka.com/	参天製薬株式会社
	おなかの悩み相談室	http://www.seirogan.co.jp/fun/stomach/index.html	大幸薬品株式会社
	なるほど情報	http://www.tamagawa-eizai.co.jp/naru/index.html	玉川衛材株式会社
	健康豆知識	http://www.mayado.jp/library/kounenki.html	摩耶堂株式会社
	未病とは	http://www.yomeishu.co.jp/yomeishu/health/	養命酒製造株式会社
	のど研究室	http://www.ryukakusan.co.jp/kenkyu/jiten/jiten.html	株式会社龍角散
	ロートくらぶ	http://www.rclub2.rohto.co.jp/	ロート製薬株式会社
	絵で見てわかる胃腸の話	http://www.wakamoto-pharm.co.jp/health/sstory.html	わかもと製薬株式会社
豆知識 サイト	ダイエットレシピ	http://www.sugarcut.jp/recipe/index.html	株式会社浅田飴
	アース害虫駆除なんでも事典	http://www.earth-chem.co.jp/gaichu/index.html	アース製薬株式会社
	便秘解消レシピ	http://www.ichijiku.co.jp/recipe	イチジク製薬株式会社
	虫図鑑	http://www.kinkan.co.jp/insect/	株式会社金冠堂
	暮らしのヒントお知らせ隊	http://hint.kobayashi.co.jp/	小林製薬株式会社
漢方・生薬 サイト	彩美ごち	http://www.siragazome.jp/index.html	ホーユー株式会社
	漢方百科	http://www.ikanpo.jp/kanpo/index.html	イスクラ産業株式会社
	生薬の知識	http://www.ohta-isan.co.jp/03knowledge/index.html	株式会社太田胃散
	生薬のはなし	http://www.kyushin.co.jp/herb/	救心製薬株式会社
女性向け サイト	生薬ご紹介	http://www.shinshu-seiyaku.co.jp/syoyaku/index.html	信州製薬株式会社
	PMSノート	http://www.pms-note.jp/	株式会社アラクス
	まんが育児物語	http://www.uzukyumeigan.co.jp/comic/	宇津救命丸株式会社
	いきいきひろば	http://www.hisamitsu.co.jp/hrt/	久光製薬株式会社
	こどものベンピ相談室	http://www.dokusougan.jp/bbp/kodomo.html	株式会社山崎帝國堂
子ども向け サイト	わこちゃんカフェ	http://community.wakodo.co.jp/	和光堂株式会社
	フマキッズこども研究所	http://www.fumakilla.co.jp/kids/homeroom/	フマキラー株式会社





大草胃腸薬

大草薬品株式会社

●成り立ち

大草薬品株式会社は、1931（昭和6）年に先々代の大草義巳が神奈川県横須賀市に大草弘真堂薬局として開業したことに始まります。弘真堂の名の由来は、弘法大師の「弘」と真言宗の「真」をいただいたものとされています。創業者である大草義巳は薬局の経営だけでなく、漢方薬も手掛け、製剤にも注力していました。そこで、それまでの大草家に伝わっていた家伝的な処方箋に手を加え、自家製剤として「弘真胃腸薬」を発売したところ徐々に評判となり、1934（昭和9）年に製薬業の許可を取得し、1937（昭和12）年には北海道や九州でも販売していただけるようになりました。「弘真胃腸薬」は、真言宗の僧侶の最高位を象徴する「緋の衣で大切なお薬を包もう」と真っ赤な包装にして、「あかぶくろ」と愛称を付けました。

当時は52種類の独自の処方薬を持っていましたが、戦時中の原料不足や製造業者の統合などにより、わずか6種類だけに整理されてしまいました。幸いにもこの中に胃腸薬の処方箋も残されており、これが現在の「大草胃腸薬」の原点となっています。

戦後、製薬業と薬局を完全に分離して、1956（昭和31）年に株式会社設立、1980（昭和55）年に創業地の船越から北久里浜に工場を移し、横須賀の製薬会社として現在に至っています。

現在は約50品目の製品を製造販売していますが、今も「胃」と

「腸」の薬が主要な製品であり、中でも「大草胃腸薬」と「大草丸」は発売以来、多くの方にご愛用いただいております。

●大草胃腸薬

「オウレン」「オウバク」「ケイヒ」「チョウジ」「ショウキョウ」「ウイキョウ」「キジツ」「ボレイ」の8種類の健胃生薬に、胃酸を中和する2つの制酸剤「沈降炭酸カルシウム」、「ケイ酸マグネシウム」と消化を助ける「牛胆汁エキス」を組み合わせたものが「大草胃腸薬」です。制酸剤にはナトリウムが含まれていないので高血圧の方にも安心してご利用いただけます。

発売当初は生薬本来の良さを引き出すため、粉末化した生薬をそのまま使用した「大草胃腸散」だけでしたが、お客様の要望に答え、顆粒剤の「大草胃腸散顆粒」、そして錠剤の「大草胃腸錠」と3種類をラインナップし、お客様のお好みに合わせて飲みやすい剤形で服用いただけるようになりました。

1989（平成元）年にはロートエキスを配合した「アルファ大草胃腸薬」、1991（平成3）年にはスッキリとした清涼感で飲みやすいド



大草胃腸散顆粒（分包）

大草胃腸錠



アルファ大草胃腸薬



大草胃腸薬内服液30



大草整腸薬（ベルビオ）

リンクタイプの「大草胃腸薬内服液30」の発売を開始し、さまざまなバリエーションから、胃痛や二日酔いなど、それぞれの症状やニーズに合った製品をお選びいただくことができます。

また、2006（平成18）年には整腸効果に着目し、消化酵素と整腸菌を配合した整腸薬「ベルビオ」を大草胃腸薬シリーズとして新発売し「胃」と「腸」の製薬メーカーとして時代にマッチした製品の研究開発にも力を注いでいます。

社 訓

1. 誰よりも先にあいさつのできる人
2. 使ったものを元の位置に返せる人
3. 時間の観念の持てる人
4. 人の恩を感じ態度で表せる人

経営理念

「品質の高い医薬品を製造販売することにより、社会に貢献する企業を目指す」

（人の大切な生命をあずかる医療従事者の一人として、品質第一主義を経営理念に掲げ、社会に貢献するため、全社一丸弛みない努力と研鑽を続けております）

大草胃腸散 第2類医薬品



●効能・効果

もたれ（胃もたれ）、胃部・腹部膨満感、胃部不快感、胃重、食欲不振（食欲減退）、飲み過ぎ、食べ過ぎ、げっぷ（おくび）、消化不良、胃痛、胃酸過多、胸やけ、胸つかえ、胃弱、はきけ（むかつき、胃のむかつき）、二日酔い・悪酔いのむかつき、嘔気、悪心、嘔吐

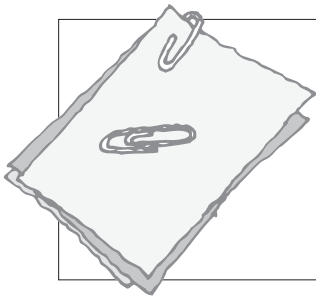
●用法・用量（1回量）

成人（15歳以上）…………… 1.5g（1包）
 11歳以上15歳未満…………… 1.0g（2/3包）
 8歳以上11歳未満…………… 0.75g（1/2包）
 5歳以上8歳未満…………… 0.5g（1/3包）
 5歳未満は服用しないでください

※1日3回食後に服用

●成分・分量…1日量（4.5g）中

オウバク末…………… 800mg
 オウレン末…………… 100mg
 ケイヒ末…………… 240mg
 チョウジ末…………… 50mg
 ショウキョウ末…………… 100mg
 ウイキョウ末…………… 100mg
 キジツ末…………… 300mg
 ボレイ末…………… 700mg
 牛胆汁エキス末…………… 125mg
 沈降炭酸カルシウム…………… 995mg
 ケイ酸マグネシウム…………… 400mg



委員会だより



総務委員会

委員長 太田 天明

(株式会社太田胃散 代表取締役社長)

東家協が所有する家庭薬ビルは建設後50年を経過し老朽化が進んでいることから、当委員会は理事会の要請を受け家庭薬ビルの耐震診断調査や建て替え等について検討しています。

8月19日には①耐震診断調査の実施②所有地の等価交換によるビルの建て替えを議題に委員会を開催しました。①について調査会社の提案に基づいて実施方法・係費・課題・予算措置等について、また②については、建築会社の提案に基づき、ビルの仕様、東家協の持ち分等について検討し、検討結果を中間報告として9月9日開催の理事会へ報告しました。理事会では等価交換について引き続き検討するよう決定されました。

11月2日の委員会では①平成22年上半期の予算状況②建物問題一について引き続き検討しました。上半期予算の執行状況は、人件費等一般管理費、会議費、委員会費、修繕費、各種支払い等の執行状況について事務局から説明を受け、進捗率に差はあるものの順調に推移していることを確認しました。建物問題に関しては、新たに等価交換以外の方法による建て替えについて協議しましたが、リスクが大きく、この方法は適切でないと判断しました。

委員会としては8月に検討した耐震診断調査をまず実施することがベストとし、最終報告を取りまとめ、11月11日の理事会に報告しました。理事会で各理事から意見があり、委員会では触れなかった家庭薬ビルの売却も検討

事項となり、事務局が現状のままの家庭薬ビルの想定価格の調査を行うことになりました。

家庭薬ビルは、組合・組合員にとって貴重な財産であり、家庭薬ビルの保有は東家協が他の薬業団体とは決定的に異なる要素でもあるので、引き続き慎重に検討を進めます。

薬事委員会

委員長 田岡 照朗

(株式会社龍角散 開発本部)

薬事委員会は、薬事、安全性等に関連して直面する諸問題について、関係団体と連携し、懸案事項の検討を行っています。

「小児へのかぜ薬、咳止め薬及び鼻炎用内服薬の使用に対する注意喚起について」の事務連絡が昨年末、発出されましたが、いまだ店頭での情報提供が不足していることが判明し、この点を改善しなければなりません。

厚労省安全対策課、日本薬剤師会、全日本医薬品登録販売者協会、卸連、OTC関連5団体が協議しました。協議の結果「各業界とも協力して、注意喚起の徹底、それに必要な情報資材（ミニポスター）の販売店舗への配信を協力して行う」こととなりました。販売、卸、メーカーが一堂に会し協議することは画期的なことと思われます。行政は都道府県へ「一般用医薬品のかぜ薬、鎮咳去痰薬及び鼻炎薬のうち小児の用法を有する製剤の販売に係わる留意点について」の事務連絡を発出する予定です。

また、リスク区分の見直しに伴う生薬・漢方製剤の調査が行われました。当初リスク区分は医療用の添付文書をもとに設定されましたが、これが製品のリスクと合致しているか

どうか、通信販売を可能にする医薬品の範囲の通知（廃止済み）とも合致していない部分もあり、新販売制度がスタートして1年少々が経過した時点で製品そのものに着目してリスク区分を見直すこととなりました。

これに伴う調査として、製剤の副作用等の調査が行われました。

使用上の注意記載要領改訂は、安全対策課で鋭意検討中です。3月をめどに通知が出される予定ですが、通知の量も多く、予断が許されません。状況に関しては逐次連絡させていただきます。

薬事委員会では、日薬連委員会報告（薬制委員会、安全性委員会、品質委員会、規制緩和部会）、OTC5団体協議会報告、その時々課題に対して協議しています。

また、事務局では、資料等を全会員に配布するサービスを開始しました。これにより、薬事関連事項は医薬品メーカー共通の課題です。少しでもお役に立てられると思います。

GMP委員会

委員長 池上 進

（救心製薬株式会社 常務取締役）

1. GMP研修見学会

第21回GMP研修見学会を11月4日、5日に参加者13名で養命酒製造株式会社にて行いました。

10年前から当委員会の見学場所として考えていた工場を委員長として最後にできたことは幸いでした。出席された皆様方も大自然の中でGMP管理された工場を見学され、大変有意義であったことと思います。平成23年度は新委員長の下、GMP推進のための研修見学会を開催していただきたいと思います。

2. 最近の動向

- (1) 第30回GQP・GMP研究会が3会場で行われました。総参加者は1,474名（21年、1,157名）でした。30周年記念講演およびCSV等の演題で参加者が多かったようです。
- (2) コンピュータ化システム適正ガイドラ

インについて

コンピュータ化システム適正管理ガイドラインが発出され、解説書が12月20日に発刊されます。施行は平成24年4月1日からですが、通知で可能なシステムから順次適用されます。本ガイドラインのオーバースペックは要求されていませんので、ガイドラインをよく理解して対応してください。

(3) 製造方法の変更に関する検討について

アンケートを実施した結果、約210件の事例が収集されました。事例は製造方法、試験検査、規格および試験方法、成分・分量または本質、保管で、各事例について検討しQ&Aの形式にまとめ、当局と相談する予定です。

(4) PIC/Sガイドラインの調査

7月に比較分析WG（ギャップ分析）がキックオフしました。国内通知等とのギャップ分析を行いPIC/Sガイドラインとコンパラビリティを持たせるための議論、補強の仕方を検討します。必要であれば新たなガイドラインを作成し、最終的に通知として発出される予定です。

3. その他

新医薬品GMP調査権者を都道府県に移管する件は、初回は今までどおりで、2回目から都道府県が実施するようです。

ICH Q10については医薬品GMP・GQP研修会で、現行のGMP要件に対して付加的な部分は任意との説明がありましたが、Qトリオはよく理解されて不測の事態に対応できるようにと思います。

流通委員会

委員長 赤坂 完一

（救心商事株式会社 常務取締役）

2010年を省みますと政治、経済、社会全体が八方塞がりの様相を呈し、当業界は揺れに揺れる諸情勢の影響を受けることにより、大いに苦戦を強いられた1年であったと思い

ます。(4月～10月 店頭消化前同比:94.4%)

長期デフレ下における消費低迷、天候不順による季節商材の減少、前期インフルエンザ流行による特需の反動、改正薬事法の施行制度における諸問題等が低調の要因です。

大衆薬の右肩下がりに歯止めがかかっていない状況の中で、家庭薬市場の活性化および伝統薬の拡大を目指して対応していきたいと思えます。

1. 東家協・流通委員会開催

(1) 平成22年7月16日(第1回)

- ・株式会社Paltac 竹澤専務「Paltacの営業方針について」
- ・株式会社ツムラ 漢方記念館見学

(2) 平成23年1月(第2回)開催予定

2. 全家協流通委員会開催

(1) 平成22年6月21日(第1回)

- ・鹿島薬事委員会委員長
「医薬品の情報提供の基礎知識
～営業活動を円滑にするために～」

(2) 平成22年11月22日(第2回)開催

3. ドラッグストアにおける家庭薬共同企画について

- (1) 株式会社ハーティウォンツ様(平成22年9～10月)
- (2) 株式会社富士薬品グループ様(平成23年2月)実施予定
- (3) 株式会社サッポロドラッグストアー様(平成23年5月)実施予定

厚生委員会

委員長 宇津 善博

(宇津救命丸株式会社 代表取締役社長)

厚生委員会は組合定款に定める組合員の厚生事業を主催し、組合懇親会、TKGCおよび軟式野球大会を行っています。組合懇親会は7月理事会(箱根湯本河鹿荘で開催)の終了後役員・組合員の参加により開催しました。



TKGC第21次大会は箱根カントリー倶楽部で9月30日開催した第12回ゴルフ会をもって終了し、引き続き11月16日開催の府中カントリー倶楽部から第22次大会を行っています。

家庭薬軟式野球大会は、本年度第68回を迎え、14社15チームが参加し10月17日から埼玉県和光市・東京薬業健保組合グラウンドにて行いました。大会結果は23ページに示したとおり、優勝 ロート製薬、準優勝 イワキ、3位 養命酒製造およびフマキラーとなりました。年々参加チーム数が少なくなっていますので、野球チームを持つ組合員各位に参加を募りますが、このまま参加チーム数の減少が続けば、今の形でいつまで継続するか検討する時期になっています。

労務委員会

委員長 荒井 聡

(株式会社ツムラ 取締役人事部長)

労務委員会では、年4回の定例会(7月、9月、12月、3月)を開催していますが、例年9月には、ツムラの軽井沢にある保養所を利用して1泊2日の合宿形式で会議を行っています。

内容としては、昨今の人事労務管理に関連した最新情報の提供や、各社の人事施策についての講義、労働判例に関する事例研究、そして各社が抱えている労務管理上の諸問題について意見交換を行っています。

現在、労務委員会には、秋山錠剂、浅田飴、イチジク製薬、太田胃散、河合製薬、救心製

薬、金冠堂、東京甲子社、トクホン、養命酒製造、龍角散、わかもと製薬、ツムラの13社が加入していますが、9月9日～10日にかけて行われた今回の合宿には、11社から延べ15名の参加があり、有益な情報交換とともに活発な議論が交わされました。今回のプログラムの内容を以下に紹介します。

◆情報提供：「最近の人事労務施策について」

河合製薬 今井委員より

①育児休業と最近の子育て事情について

②育児・介護休業法とは

③「子育て支援」改正のポイント

◆特別講演：「最近の人事労務事情について」

RKCアソシエイツ代表 櫻井 稔氏

①社会規律の動揺に起因する問題事例の発生にどう対応するか

②派遣・請負をめぐる最近の動き

◆情報交換会Ⅰ：人事労務管理の各社における最近の取り組み・トピックス

◆情報交換会Ⅱ：労働判例分析による人事労務トラブル解決策の検討

上記のプログラムのように、年々企業では人事労務の諸問題が経営上の重要課題となっており、労働時間管理、育児介護をめぐる諸問題、メンタルヘルス対策、パワーハラスメント、雇用延長、派遣社員の問題など、ますます人事労務管理の重要性が認識されてきています。

労務委員会では、今後とも先進他社事例も含めた最新情報や知識を共有化し、会員各社の人事労務諸施策の立案および展開等に具体的に寄与する場として活用していきたいと考えています。

IT (情報技術) 委員会

委員長 大泉 高明

(株式会社大和生物研究所 代表取締役社長)

本年度の前半は新メンバーも加えて、今後の委員会活動の方向性に関して、以下のことを検討しました。

①組合におけるITとは何か

②IT委員会ができることは何か

③IT委員会が行うべきことは何か

④IT委員会の存続の意義とは何か

1. 基本方針

これらの議論をとおして、以下の方針に基づいて活動することを決定しました。

(ア) コンシューマー向けコンテンツを基本に、会員相互の情報共有化の促進を図るための仕組みを提供する。

(イ) マスメディア等で取り上げられた家庭薬関連情報をアウトプットしやすい形で蓄積する。

(ウ) 組合員に対して、IT技術に関する先進事例等の紹介を行う。

(エ) 大阪家庭薬協会広報部会とのITに関する連携・連帯促進をとおして、東西全体の活性化を促進する。

(オ) 上記で得られた情報を積極的に組合員に発信し、情報の共有化と会員相互のコミュニケーションを図る。

2. 活動方針

上記の基本方針に基づき、以下の活動方針が決定されました。基本方針に基づき行うべき項目は多岐にわたりますが、各項目を重要度と緊急度でマトリックス分析し、以下の分類を行いました。

A：重要度が高く、かつ緊急度も高い項目

B：重要度は高いが、緊急度はそれほど高くない項目

C：重要度は比較的低いが、緊急度が高い項目

D：重要度は比較的低く、かつ緊急度も高くない項目

この結果、各分類に以下の活動事案が分類され、優先順位の高いAに分類された項目を中心に活動を開始しています。

.....

A：重要度が高く、かつ緊急度も高い項目

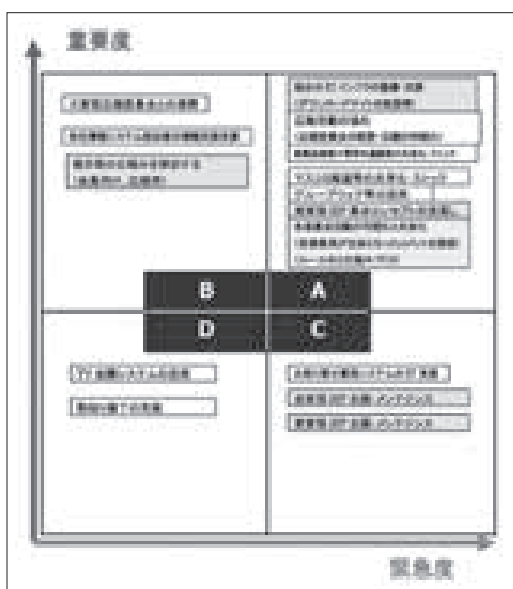
1) 組合のインフラ整備・支援

2) 広報活動の強化

3) マスコミ報道等の共有化・ストック

4) HPコンセプトの見直し

5) 各委員会活動の可視化と共有化



B：重要度は高いが、緊急度はそれほど高くない項目

- 1) 各社情報システム担当者の情報交換支援
- 2) 大家協広報部会との連携

C：重要度は比較的低いが、緊急度が高い項目

- 1) お取り寄せ薬局システムのIT支援
- 2) 東家協・全家協HPメンテナンス

D：重要度は比較的低く、かつ緊急度も高くない項目

- 1) TV会議システムの活用提案
- 2) 「物知り横丁」の充実

.....

また4月および11月の2回、大阪家庭薬協会広報部会との合同委員会を設け、全家協HPの制作および東西連携に関する協議を行いました。さらにITをとおして組合活動の活性化に資するという立場から、ITからみた組合全体の委員会活動のあり方、相互補完のあり方、連携のあり方など、委員会活動のあり方についても踏み込んだ提言をしていく方針です。



消費者対応委員会

委員長 堀口登志夫

(養命酒製造株式会社 マーケティング部お客様相談室長)

この半年間におきましては、当委員会の主な活動の一つである「東西合同消費者対応委員会」を開催しました。また、定例委員会2回と臨時委員会1回を開催しましたので、以下に簡単にその活動内容につきましてご報告します。

1. 第13回東西合同消費者対応委員会

昨年の11月5日～6日に、滋賀県米原市にて、大阪家庭薬協会消費者対応部会との合同で開催しました。

今回は、メインテーマとして、スギメディカル株式会社・教育事業部部長の榊原幹夫様を招聘し「チェーン薬局（地域医療対応型ドラッグストア）におけるお客様対応、クレーム対応」についてのご講演ならびに意見交換を行いました。また、第3回日薬連くすり相談部会の内容要旨報告、委員各社のクレーム対応事例紹介および消費者対応における情報交換等、相互に活発な意見を交わしました。

スギメディカル様との情報交換については、当委員会としても長年の希望でしたが、先生より販売店様側の消費者対応の実態について、大変貴重なお話を頂きますとともに、メーカーへの提言も頂き、非常に有益な時間となりました。今後、このたびの貴重な縁を、当委員会の新たな活動に生かしていきたいと考えています。

その他、委員各社にて対応した常習者によるクレーム事例や特殊対応事例、また実務にかかわる情報交換等を活発に行いましたが、われわれ消費者対応に携わる担当者にとっては、非常に有益な時間であり、貴重な情報源となりました。今後とも、東西における情報の共有化をさらに図り、親交を深める良い場として、より一層活発な活動として充実させていきたいと考えています。



2. 定例委員会および臨時委員会について

昨年7月、10月、12月の3回にわたり、委員会を開催しました。主な内容は①第2回および第3回日薬連くすり相談部会の内容要旨報告②東西合同消費者対応委員会における討議内容等の確認③今年度および次年度の活動内容の再考④本年3月に開催予定の消費者対応担当者研修会のテーマについての討議、講師の選定等⑤会員各社における消費者対応業務、GQP・GVP対応業務、クレーム事例研究につきまして、それぞれ活発に意見交換および情報交換を行いました。

消費者対応担当者研修会につきましては、例年どおり、加盟各社様の消費者対応担当者の実務に直結する内容とすべく討議を重ねていますが、詳細については後日連絡します。

3. その他

昨年9月10日～11日に、JR新宿駅西口イベント広場にて開催された「第3回一般用医薬品普及啓発イベント」において、来場者向けの意識調査アンケート中に、当委員会より提言したアンケート内容（薬に関する情報の入手先や副作用発生時の問い合わせ・相談先、副作用の経験の有無、「副作用被害救済制度」についての理解度、等）を組み入れていただきました。本アンケートにつきましては、今後とも定点観測的に実施できればと考えていますが、当委員会の活動においても何らかの形で有効に生かしていきたいと考えています。

また、昨年同月には、OTC関連5団体の消費者対応委員会代表者による初顔合わせが実現しました。他団体（OTC薬協、直販協等）との情報交換や合同委員会を通じての関係強

化については、今後、種々の問題に直面する際にも、大きな総合力となり、必要不可欠な結びつきになると考えています。

当委員会では、メンバーで力を合わせながら、定例委員会および各活動を通じて、さまざまな情報を収集、発信することにより、今後とも東家協加盟各会社全体の消費者対応に関するスキルアップを図るべく、積極的な活動に取り組んで行きたいと考えています。

情報協業化委員会

委員長 藤井 隆太

（株式会社龍角散 代表取締役社長）

当委員会は主に若手経営者層で構成されており、戦略的思考により業界の未来策定と施策の試行を実施しています。

海外関連の事業につきましては新設された全国家庭薬協議会の国際委員会に活動自体を移管しましたが、当委員会が窓口となって報告します。最近の検討状況は次のとおりです。

1. インバウンド関連

「インバウンド」とは、日本に入国した人を対象にしたビジネスを指します。

当組合では業界に先駆けて実施に踏み切りました。昨年度は年間100万人、本年は150万人に達する見込みの中国人旅行者向けに、共同広告を実施しています。中国でビザ発給時に配布される中国政府公認のガイドブックには13品目を共同広告として掲載しました。尖閣諸島事件もありましたが、富裕層に関してはあまり影響はない模様で、団体客で訪れる全国で40店程度の個店では順調な店頭消化を示しています。第2弾は27品目を収載して発刊予定です。今後中国人だけでなく、台湾や韓国からの旅行者向け企画も準備しています。

2. お取り寄せシステム

本件は元々店頭で入手しづらいとのクレームに対応するために考案されたシステムですが、通信販売の代替案としても注目されてい

るため、販売規制の経過措置が終了する平成23年6月を目標として検討しています。配送可能店の情報のみインターネット上に公開し、既存配送ルートを活用して個店向けに配送します。既に一部メーカーによる試行は3年目に入っており、インターネット上での店舗検索システムも試験運用段階です。配送店舗は北関東の卸業の参加などにより3,000店を超えました。今後は規制緩和の動きにも注視して検討を進めていきます。

3. 共同販促企画

一本堂企画では店頭売価やポイントには一切関与せず、参加品目の平均店頭消化が前年比300%を記録しましたが、期間終了後も前年比増を記録するなど良い成功例になったと考えています。

各店薬剤師のアンケート結果からも新規顧客の獲得に成功したと考えられ、一本堂では第2弾企画を募集に入るとともに、流通委員会とも協力してこの成功例を各地域に拡大していく計画です。

4. 海外関係

1) 香港関連

8月に香港で開催されたICMCM展示会に4回目の共同出展をしました。展示会は今年で10周年だったため、記念式典に招待され、当方が主催した懇親会にも生薬関連団体の幹部を招くなど相互理解を深めることができました。

香港貿易発展局と連携した講演会は衛生署とタイガーバームの代理店を招き、薬事・流通の両面で有益な情報を得ることができました。昨年度訪問した地域量販CrCareでは台湾と日本での成功事例を紹介し、共同販促の実施に向けて大きく前進しています。

2) 台湾関連

第2回目となる共同販促を準備中で、次回従来「丁丁薬局」と「健康人生薬局」に加え、台中に本拠を置く「裕全」が加わり実施店舗を150店にまで拡大する計画です。

3) WSMI関連

12月に台湾で開催されたWSMI世界セルフメディケーションインダストリーアジア地区大会で家庭薬の活動についてプレゼンする機会を得ました。家庭薬製品の国際競争力や国内外での共同販促がセルフメディケーション推進に効果的だった点などを説明しました。各国からも興味を引いたようで今後の国際展開の足掛かりになればと考えています。

4) 香港でのインバウンド企画

日本の10倍以上の中国人入国者を抱える香港は私たちにとっても大きなマーケットです。今回は第1弾として、ビザ発給時の申請データにより富裕層向けに集中配布されるガイドブックに香港国内で販売されている家庭薬の共同広告を掲載しています。個別DMのほか、香港内の映画館やクリスマスに実施した市中での配布分を合わせ、既に10万部を配布しており反響が待たれるところです。

広報広告委員会広報誌部会

部会長 武藤 毅

(株式会社龍角散 マーケティング部長)

『かていやく』88号をお届けします。本号の特集企画は前号に引き続き「健康情報が満載 ホームページがおもしろい!」です。一昔前、ホームページを立ち上げることがトレンドだった時代から「フラッシュを使って色鮮やかに動くサイトの制作」「検索エンジン(SEO)対策」等の時代を経、あっという間に「コミュニケーションサイト(SNS)」を利用したサイトの運営の時代となってきました。お客様と直接ふれ合える重要で不可欠なツールとなったようです。昭和30年代生まれの小生は、技術革新の早さに付いていけず日々右往左往している状況です。

末筆となりましたが本号発刊にご協力いただきました皆様に深く御礼申し上げます。

よく知って正しく使おう一般用医薬品

「くすりと健康の週間」事業としてスタートした本イベントは、JR新宿駅西口イベント広場に開催場所を移して3回目となり、本年度は9月10日（金）～11日（土）に開催しました。

このイベントは平成19年10月、東京都薬用植物園において「セルフメディケーションと家庭薬」をテーマに日常の予防・健康管理の大切さとともに一般用医薬品を上手に使う大切さを生活者に発信することを目的に始めました。平成20年10月には開催場所をJR新宿駅西口に移し、平成21年6月に迫った一般用医薬品新販売制度の施行を前に都民の新制度についての理解の向上とセルフメディケーションの普及啓発を行いました。平成21年9月のイベントでは新販売制度の施行直後でありましたので、来場者に新販売制度がどれほど理解されているか等のアンケート調査を行いました。

出展協力企業は年々増加し、本年度は平成20年度の2倍の広さに会場スペースを用意し、当組合員を中心に31社（32ブース）が出展しました。会場ではモデル薬局や調剤体験コーナーが設置され、医薬品の普及啓発の紙芝居のほか、東京薬科大学一般用医薬品教室の渡辺謹三教授によるセルフメディケーション理解度調査が実施されました。また東京都薬剤師会・東京都医薬品登録販売者協会による



紙芝居を活用してOTC医薬品を啓発

薬剤師・登録販売者によるお薬相談やセルフメディケーションデーターベースセンターによる医薬品の情報提供の仕組みを紹介するコーナーには期間中多くの来場者が訪れました。



開会の挨拶をする
藤井実行委員長

本イベントは当初3年計画でスタートし本年度は最終年度でありましたが、セルフメディケーションの役割・意義、一般用医薬品に関する正しい使い方等の情報を引き続き発信するため、実行委員会では来年度以降も継続して行うことを決定しました。

後援を頂きました厚生労働省および東京都に感謝申し上げます。（事務局記）



モデル薬局の様子

■実行委員会

委員長：藤井隆太 東京生薬協会会長
日本OTC医薬品協会、東京生薬協会、東京薬事協会、東京都家庭薬工業協同組合、東京都薬剤師会、東京都医薬品登録販売者協会

■出展協力企業（31社）

(株)浅田館、イスクラ産業(株)、イチジク製薬(株)、イワキ(株)、宇津救命丸(株)、(株)太田胃散、大塚製薬(株)、救心製薬(株)、杏林製薬(株)、(株)キンカン、(株)恵命堂、興和(株)、佐藤製薬(株)、三宝製薬(株)、ゼリア新薬工業(株)、大幸薬品(株)、大正製薬(株)、(株)大和生物研究所、玉川衛材(株)、(株)東京甲子社、(株)トクホン、長野県製薬(株)、日本化薬フードテクノ(株)、ミヤリサン製薬(株)、森下仁丹(株)、(株)山崎帝國堂、ユースキン製薬(株)、養命酒製造(株)、(株)龍角散、わかもと製薬(株)、(株)一本堂

養命酒製造株式会社

救心製薬株式会社 品質管理部 久保田 真司

平成22年11月4日、5日の2日間、さわやかな秋の好天に恵まれる中、東京都家庭薬工業協同組合主催のGMP研修会が開催されました。21回目を迎えた今回は、長野県駒ヶ根市にある養命酒製造株式会社のご協力で工場見学会が行われ、9社から総勢13名の参加となりました。

* * *

養命酒製造株式会社は今から約400年前の慶長7年（1602年）に塩澤家当主が創製された養命酒を広く世の人々の健康に役立てたいとの考えから大正12年、長野県上伊那郡で株式会社天龍館として創業され、昭和26年に現在の社名に変更し、今日に至っています。

同社は養命酒を始め、医薬部外品、本みりんやミネラルウォーターといった食品まで幅広く製造・販売されています。従業員は約250名で駒ヶ根工場のほか、長野県上伊那郡に中央研究所を有しています。今回見学させていただいた駒ヶ根工場は、自然との調和、伝統と科学との融合を設計思想として、昭和47年に竣工されました。敷地総面積は約36万平方メートルで広大な敷地の70%は自然の森林に覆われています。工場棟としては、生薬庫、原酒庫、調製庫、瓶詰棟および品質管理棟からなり、配管、電線はすべて地下に施されています。また、自然の傾斜を利用して製品は、原酒庫から調製庫、瓶詰棟へと地下のパイプで移動させています。敷地内にはこのほか、「養命酒健康の森」の記念館や「カフェヒーリングテラス」があります。これらの施設は、生薬教室や体験学習等、各イベントに使用されており、地域社会への貢献を積極的に行っています。



会社概要の説明を受けた後、瓶詰棟で行われている洗瓶～充填～ラベル貼り～梱包工程を見学させていただきました。このラインはオペレーターが2、3人と、ほとんどすべてが自動化されていますが、充填液剤の異物確認には、能力・技術を身につけ、認定された作業員による全数目視検査が行われています。包装工程では、ラベル、製造番号等、重要な部分において随所にセンサー、ビデオ検査装置等が配置され、常に高品質な製品を製造していくことができるシステムが完備されていました。

工場見学後に行われた懇親会では、参加者全員の自己紹介に始まり、16局への対応状況、生薬原料のトレーサビリティ確保への考え方等、現在各社がそれぞれ直面している問題点や疑問点が多く提議され、池上委員長を中心に活発な意見交換が行われ、大変有意義な会になりました。

最後になりましたが、大変お忙しい中、今回の工場見学を快く承諾していただきました養命酒製造株式会社、親切でわかりやすい説明をしてくださいました社員の方々に深く感謝いたします。

家庭薬 グラフィティ

■ 薬祖神祭

(10月15日、東京薬事協会)

この日、日本橋本町・昭和貿易ビル屋上の薬祖神社において午後1時30分から式典があり、当組合堀理事長ほかが出席され、神事が執り行われました。午後3時から是一般参拝となり、例年どおり同ビル前には参拝者の長い列が見られました。午後2時から地元有志の祭囃子が流れ、参拝者には抽選による景品の贈呈やお汁粉が振る舞われ、賑やかな祭りの風景が見られました。



薬祖神祭の様子



参拝する堀理事長

■ 平成22年受賞者祝賀会 および忘年会

(12月9日、グランドヒル市ヶ谷)

理事会終了後「グランドヒル市ヶ谷 翡翠の間」において開催し、春の叙勲で旭日小綬章を授与された(株)ツムラ顧問 風間八左衛門氏および薬事功労者厚生労働大臣表彰を受賞された(株)山崎帝國堂社長 竹内彪衛氏に堀理事長から記念品が贈呈されました。堀理事長はお二人の叙勲および受賞は組合にとって極めて名誉なことであり、長年にわたるご研鑽・組合に対するご指導にお礼を申し上げたい等の祝辞を述べられました。お二人から返礼のご挨拶の後、お二人を囲んで和やかに祝賀会および忘年会を行いました。



祝辞を述べる堀理事長



乾杯の音頭を取る
太田副理事長



締めめの音頭を取る
塩澤副理事長



(株)ツムラ顧問
風間八左衛門氏



(株)山崎帝國堂社長
竹内彪衛氏



■ 平成23年 薬業四団体 新年賀詞交歓会（1月6日、グランドプリンスホテル赤坂）



薬事功労受賞者の代表として謝辞を述べる風間副理事長



.....

■ 平成23年 全国家庭薬メーカー・卸合同新年互礼会
（1月11日、リーガロイヤルホテル大阪）



開会の挨拶をする牧田会長



第68回 家庭薬軟式野球大会 ロート製薬 3年ぶり2回目の優勝!!

第68回家庭薬軟式野球大会は、14社15チームが参加し、10月17日に東京薬業健保組合グラウンド（埼玉県和光市）で開催されました。途中グラウンド不良で1週間の順延がありましたが、11月17日には準決勝・決勝戦を行い、ロート製薬が平成19年以來となる2回目の優勝を果たしました。好プレー・珍プレーあり、また大差の試合、規定時間で決着がつかず特別ルールで勝者を決めた試合等、熱戦が続きましたが、試合中のけがで選手が出場辞退し棄権試合があったことは残念でした。

準優勝はイワキ、第3位は養命酒製造およびフマキラーの結果でした。個人賞はそれぞれのチーム推薦で最高殊勲選手にロート製薬の浅野泰晃さん、殊勲選手にイワキの品田和典さんが選出され記念楯を受けられました。

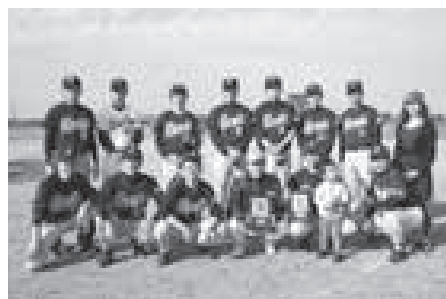


初めての試みとして、東京化学工業薬品同業組合の優勝チームと当組合優勝チームの対外試合を準備しましたが、両チームの時間調整がつかず対戦できませんでした。

参加数は年々減少傾向ですが、対外試合の計画も含めて野球大会の盛り上げを図っていきますので、引き続き参加いただきますようお願いします。



優勝したロート製薬チーム

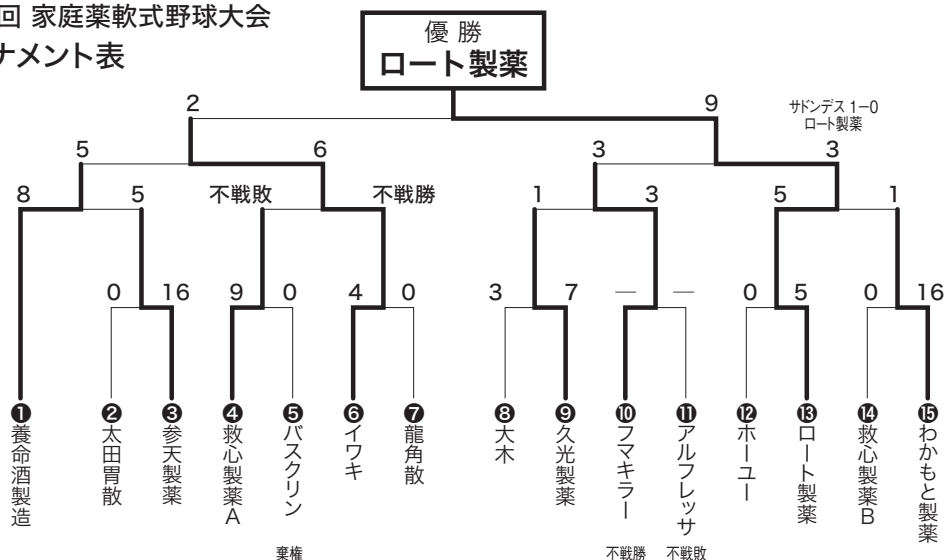


惜しくも準優勝のイワキチーム



個人賞を受賞した
浅野泰晃さん(右)と品田和典さん

第68回 家庭薬軟式野球大会 トーナメント表



事務局だより

●9月29日（水）

家庭薬軟式野球大会に関連して、東京化学工業薬品同業組合と協議し、優勝チーム同士の親睦試合の開催について協議しました。初めての試みですが、11月両大会の終了後に東京薬業健保組合グラウンドで行うことに決定しました。

●10月13日（水）

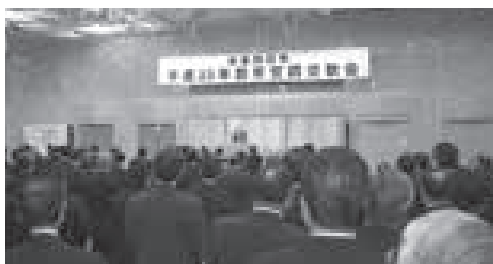
OTC医薬品5団体トップ会議があり、牧田副理事長が全家協会長として参加しました。一般用医薬品の振興を図るため5団体による協議会の設置について合意し、来年度の発足に向けて事務局間で調整を続けることを決定しました。

●10月22日（金）

平成22年度薬事功労者厚生労働大臣表彰授与式が厚生労働省講堂で挙行されました。組合関係者では株式会社山崎帝國堂竹内 彪衛社長が受賞され、式典において製薬メーカー受賞者を代表して厚生労働省医薬食品局間杉局長から賞状・記念品が授与されました。

●11月22日（月）

全家協流通委員会が大阪市であり、当日は



少彦名神社・神農さんの祭りと重なりましたので、委員会終了後、委員全員で参拝しました。「くすりの道修町資料館」では、10月から大家協設立65周年記念事業として家庭薬の展示が行われ、開催中多くの来場者で賑わう資料館を見学しました。

●平成23年1月6日（木）

東京薬業4団体新年賀詞交歓会ならびに平成22年度薬事関係受賞者祝賀会がグランドプリンスホテル赤坂「五色の間」で正午から開催されました。当組合関係の受賞者は旭日小綬章に風間副理事長（㈱ツムラ顧問）、厚生労働大臣表彰に竹内理事（㈱山崎帝國堂社長）のお2人でした。誠にありがとうございます。

●平成23年1月11日（火）

全国家庭薬メーカー・卸合同新年互礼会が午後2時30分からリーガロイヤルホテル大阪において開催され、新年を寿ぐ関係者多数の出席のもとに盛大に行われました。

編集後記

明けましておめでとうございます。今号の特集では、前号に続き健康情報満載の組合員のホームページを紹介しています。この企画を通し、皆様の今後の活動のヒントとしていただければ幸いです。広報誌部会としましては『かていやく』を通し、今年も一層、セルフ

メディケーションへの理解促進、および一般用医薬品の普及拡大を願い、組合員の皆様の活動に少しでも役立つような企画、情報を発信できるよう、編集に邁進してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

（株式会社ツムラ・岡田）

かていやく

通巻88号 2011年1月25日

編集人：東家協広報広告委員会広報誌部会

発行所：東京都家庭薬工業協同組合

〒104-0061 東京都中央区銀座8-18-16

TEL 03-3543-1786 FAX 03-3546-2792

Eメールアドレス／tokakyo@tokakyo.or.jp

<http://www.tokakyo.or.jp/>
